

プログラム



水のちからを、  
未来のちからに。



Kathleen  
1947



撮影：西沢 丞

# 利根川サミット

私たちの暮らしを潤している“水のちから”利根川。  
一方、甚大な被害をもたらしたカスリーン台風から60年目の今年。  
その恐ろしい“水のちから”の記憶を風化させず次代へと継承し、  
利根川流域が関東地方の“未来を築くちから”を持つために  
「利根川宣言2007」を採択します。

# 利根川サミット

日時:2007年11月23日(金・祝日) 開場 12:30 開会 13:30 閉会 16:00

会場:笹川記念会館 国際ホール

主催:カスリーン台風60年委員会 関東地方整備局、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、水資源機構、上毛新聞社、下野新聞社、埼玉新聞社、茨城新聞社、千葉日報社、東京新聞

## プログラム

13:30 開会

挨拶 金子 善次郎(国土交通大臣政務官)

13:40 基調講演「人間の時間と自然の時間」

藤吉 洋一郎(大妻女子大学教授・元NHK解説委員)

14:30 休憩 (10分)

14:40 パネルディスカッション  
「水のちからを、未来のちからに。」

パネリスト

福田 富一(栃木県知事)

大澤 正明(群馬県知事)

上田 清司(埼玉県知事)

坂入 健(茨城県企業局長)

古川 巖水(千葉県県土整備部長)

道家 孝行(東京都建設局長)

北橋 建治(関東地方整備局長)

コーディネーター

武藤 洋一(上毛新聞社編集局長)

※順不同、敬称略

15:55 「利根川宣言 2007」の発表

上田 清司(埼玉県知事)

16:00 閉会

### 講師プロフィール

ふじよし よういちろう

藤吉 洋一郎

大妻女子大学教授・  
元NHK解説委員

昭和41年、東京大学工学部都市工学科卒業。同年NHKに入局し、記者、解説委員として都市問題、気象災害、運輸・通信、科学などのテーマを長年にわたり担当。平成14年、大妻女子大学教授に就任、現在に至る。



1947年、国土の荒廃と疲弊する社会経済で混乱する日本を襲ったカスリーン台風は関東地方に未曾有の大雨をもたらし戦後最大の水害を及ぼしました。



足尾線の復旧作業(群馬県勢多郡東村・現みどり市)



倒壊した新川グランドのスタンド(群馬県桐生市)



命綱を頼りに歩く人々(栃木県足利市)



利根川と渡良瀬川の合流点付近



桜堤の決壊(東京都葛飾区水元公園付近)



ボートによる警察官出動(東京都葛飾区)



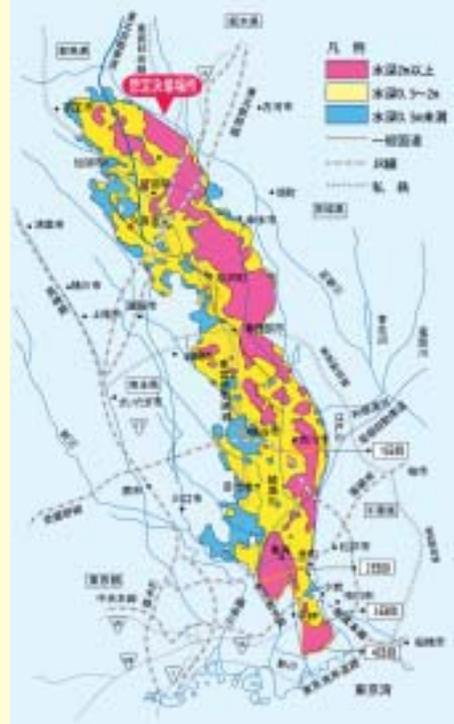
栗橋町の浸水状況(埼玉県栗橋町)

## もしも今、「カスリーン台風」級の台風に襲われたら。

もし、現時点でカスリーン台風と同じ規模の台風が来襲し、利根川の堤防が決壊したと想定すると、その被害額は約34兆円と推定され、1947年当時とは比較にならないほど莫大なものとなっています。利根川や江戸川の堤防が決壊し、その濁流が首都東京を襲ったとしたら、どうなるのでしょうか。水道、ガス、電気など各種のライフラインなどが水没することによって、日常生活に支障を来すのはもちろんのこと、首都圏の社会経済の機能が完全に麻痺し、引いては日本全体の機能が停止してしまう可能性が高く、その被害ははかり知れないものと推定されます。

■ カスリーン台風当時と現在の比較	カスリーン台風 (1947年当時)	現在 (2004年時点推定)
はん濫面積	約440Km <sup>2</sup>	約530Km <sup>2</sup>
浸水域内人口	約60万人	約230万人
被害額	約70億円 (一般資産+農作物等)	約34兆円 (一般資産+農作物等)

### ■ 洪水氾濫計算結果



カスリーン台風から60年



## 利根川宣言 2007

カスリーン台風の災害から50年が経過した、1997年9月、1都5県の首長が集い「利根川サミット」を開催し、災害の教訓や、豊かな利根川の恵みを未来の世代に受け継いでいくため、[利根川宣言]が採択されました。

あれから10年が経過し、近年、「地球温暖化」による集中豪雨の多発や「少子高齢化」に伴う地域防災力の低下などが指摘される中、私たちは、少しでも洪水被害を減らす努力を続けていかなければなりません。

また、利根川は、首都圏に残された貴重な水と緑の空間であり、豊かな自然環境を保全・再生し、かつて、利根川により社会・文化が発展してきたことを思い起こし、流域が一体となって、新しい利根川とのかかわりについて考えていかなければなりません。

本日、カスリーン台風の災害から60年目に当たる節目の年にあたり、利根川流域の知事や関係者が一堂に会して利根川を巡る様々な課題や可能性、夢などについて語り合いました。

私たちは、利根川によって結ばれた運命共同体であり、上下流の人々が、お互いへの思いやりの気持ちを持ち、心を一つにして利根川の豊かな恵みを次世代に受け継いで行けるよう、1997年の[利根川宣言]を更に発展させて、次のとおり宣言いたします。

- 一 カスリーン台風の教訓を次世代に継承するとともに、今後の「地球温暖化」、「少子高齢化」などの新たな課題にも対応できる災害に強い社会づくりを推進します。
- 二 水源地域の山林を流域の人々で守るなど、利根川のもたらす水の恵みに感謝し、利根川を世代を超えて大切に守ります。
- 三 利根川の素晴らしい自然環境を保全・再生し、美しく清らかな利根川を次世代に残していきます。
- 四 利根川とともに生きてきた先人たちによる歴史と文化を尊び、人が憩い、集い、ふれあえる、地域に根ざした川づくりを推進します。
- 五 利根川で結ばれた地域のつながりを大切にし、上流と下流の更なる交流を深め、思いやりを持って、利根川流域が一体となった地域づくりを推進します。

平成19年11月23日

利根川サミット

# 『利根川サミット』

## 特別番組放映日及び各新聞掲載予定

### 【特別番組放映日】



局名	放映日	放映時間
とちぎテレビ	12月21日（金）	20時から
群馬テレビ	12月8日（土）	19時から
テレビ埼玉	12月9日（日）	20時から
千葉テレビ放送	12月22日（土）	15時から
東京MXテレビ	12月8日（土）	10時から

※番組内容: サミット60分特別番組

### 【新聞掲載予定日】

新聞名	掲載日
茨城新聞	12月下旬(予定)
下野新聞	
上毛新聞	
埼玉新聞	
千葉日報	
東京新聞	



※新聞掲載内容: 利根川サミット採録記事